

## うべけん女子サークルとは??

「うべけん女子サークル」は、宇部建設コンサルタントに勤める女性技術者の技術力向上と交流を目的として発足しました。

活動内容としては、土木学会選奨土木遺産やジオパークを巡る予定です。

土木学会選奨土木遺産とは、日本国内の歴史的建造物のうち土木建造物について、この保存を目的として土木遺産に認定する制度です。

山口県では、「角島灯台および関連施設群」、「火ノ山砲台跡」、「惣郷川橋梁」などが認定されています。

ジオパークの「ジオ (geo)」は、地球や大地という意味です。ジオパークとは、科学的にみて特別に重要で貴重な地質遺産を含む自然公園のことを指します。

山口県では、「Mine 秋吉台ジオパーク」、「萩ジオパーク」があります。

これらを視察して、土木技術者の立場から気づいたことの意見交換をすることで、技術力の向上を目指しています。また、現場近くのランチやスイーツを食べて、親睦を深めることも目的の一つです。

活動は会社 HP に投稿しますので、ぜひご覧ください！



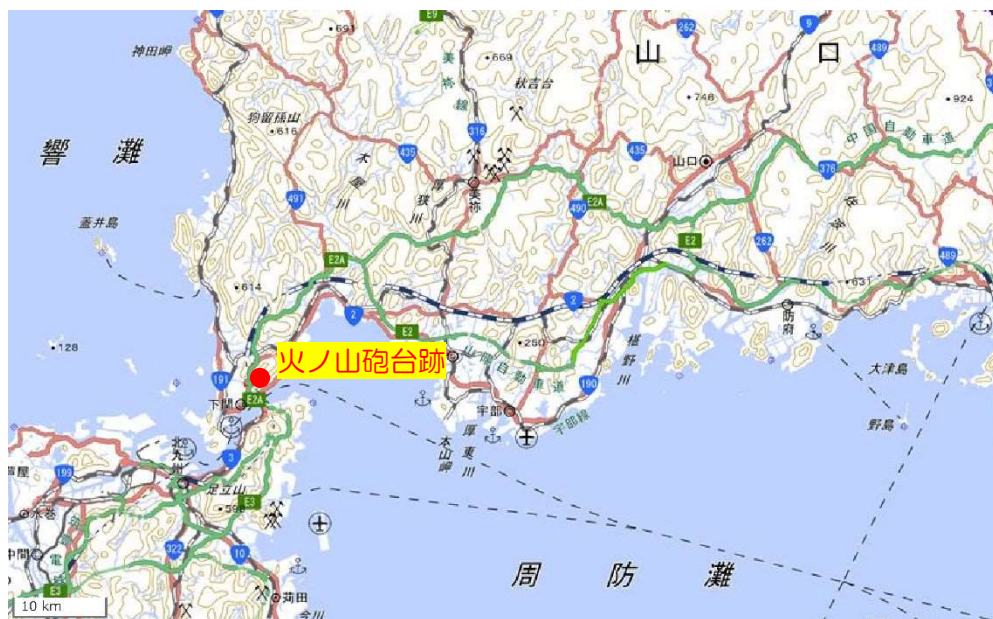
## 🌸うべけん女子サークル活動記録🌸

### vol.1 火ノ山砲台跡

第 1 回目の活動として、下関市の火の山公園内にある、「火ノ山砲台跡」を訪れました。

明治期に築造された火ノ山砲台は、現在でもその姿を留めている貴重な土木遺産として、土木学会選奨土木遺産に認定されています。砲台とは、大砲などを設置するための台座のことです。

火ノ山砲台は日清戦争の前(明治 21 年頃)に建設されました。当時、清国の北洋艦隊や、ロシアのバルチック艦隊の来襲に備えて、下関や北九州には多くの砲台が建設されたのですが、そのうちの 하나가火ノ山砲台です。火ノ山砲台は、響灘と周防灘から瀬戸内海を守る役割を持っていました。



※国土地理院の地理院地図（電子国土 Web）の一部を掲載

当時下関要塞・火ノ山砲台は重要な軍事機密で、写真撮影や民間人の立入は禁止されていたそうです。

建設から 130 年以上経っていますが、今も綺麗に残っていて、堅固な造りになっていることが分かります。



火の山山頂には第 1～第 4 まで、4 つの砲台が建設されていましたが、第 1 砲台と第 2 砲台は展望台等の建設により無くなり、現存しているのは第 3 砲台と第 4 砲台のみです。また、レンガとコンクリートと石で作られた兵舎や弾薬庫が多く残っています。



砲台跡



下関要塞・火ノ山砲台跡概要

兵舎と弾薬庫を見てみると、かなり重厚感があり、アーチの構造が特徴的です。要塞として堅固な建物にするため、上からの荷重に強いアーチ構造が採用されたと考えられます。



兵舎・弾薬庫の外観



兵舎・弾薬庫の内観

私は橋の設計業務に携わっているのですが、アーチ構造は古くから橋にも使われています。石やレンガ、コンクリートなどの圧縮力に強い材料に適している構造です。アーチ橋といえば、岩国市の錦帯橋や、山口県と島根県の県境に架かる深谷大橋が有名ですね。



錦帯橋（岩国市 HP より）



深谷大橋（まっぷるトラベルガイドより）



また、兵舎と弾薬庫の入口は、花崗岩が使われていました。花崗岩は墓石としても有名で、硬くてひび割れにくく耐久性に優れています。入口の頭上部分が壊れては困るので、このような特徴を持つ花崗岩を使用したのかもしれませんがね。



司令室を見学中



弾薬庫を見学中

火の山公園には、トルコチューリップ園もあります。お花畑がとてもカラフルで癒されました。ロープウェイからは関門海峡が望めて綺麗でした！



チューリップ園と関門橋

ロープウェイに使われている主索（ワイヤロープ）は、東京製綱株式会社が作ったものだそうです。東京製綱株式会社は、土木設計においても落石対策製品でよく見かける会社で、馴染み深いです。この主索は「鋼より線」といって、何本かの鋼線をねじって強度を増したもので、197トンもの荷重を支えられるそうです。



ロープウェイ



主索（ワイヤロープ）の展示



鋼より線

お昼は、みもすそ川別館という旅館に併設されたカフェ「Le Cafe OTO」に行きました！

「Le Cafe OTO」は山口県では珍しい、ガレット（そば粉のクレープ）のお店です。店内は古美術品が多く飾られていて、歴史を感じる落ち着いた雰囲気でした。



Le Cafe OTO（外観）



Le Cafe OTO（内観）



古美術品



春野菜のガレット

#### \*まとめ\*

「火ノ山砲台跡」は 130 年以上前に建設されていますが、現在にも通する土木技術があることが分かりました。

現在は、ロープウェイやトルコチューリップ園、遊具などが整備されていて、県外からの来訪者も多くいます。公園内で楽しみながら、土木について学べる場所だと思います。

みなさんもぜひ訪れてみてください！

